

# 小金井市コミュニティバス再編事業 第一回地域懇談会

2019年9月28日（土）、29日（日）

小金井市都市整備部交通対策課

## ■本日の進行予定

1. 開会挨拶
2. 地域懇談会について
3. 資料説明（30分程度）
4. 質疑応答
5. ワークショップ（グループ別に進行）
  - ◆ 自己紹介
  - ◆ 論点1 「公共交通での移動が不便な事項について」（15分程度）
  - ◆ 論点2 「CoCoバスの運行に求める事項について」（15分程度）
  - ◆ まとめ
  - ◆ 発表
6. 閉会挨拶

※全体で2時間弱を予定

# 1. CoCoバスについて

# ■小金井市コミュニティバス（CoCoバス）導入の経緯について

## ■基本方針（運行を開始した平成15年時点）

○ コミュニティバスは、市内の公共交通不便地域を解消し、市民の誰もが利用しやすい日常的な移動手段として、次の基本方針をもとに計画されました。

- 市民ニーズに対応した全ての人の移動機会の向上
- 小金井の街づくりに資する交通システムの実現
- 経済性、採算性の確保と継続的なサービスの提供
- 交通弱者（高齢者・障がい者・幼児と保護者）の外出機会の提供

## ■愛称について

○ 愛称の「CoCoバス」は、公募意見の中から選ばれました。

小金井市の「Co」      コミュニティバスの「Co」

ここ  
CoCoろの通うバス

という意味がこめられています。



## ■略年表

平成15年	北東部循環 運行開始
平成16年	北東部循環 運行時間拡大
平成17年	貫井前原循環、東町循環、中町循環 運行開始
平成18年	北東部循環 平日朝の増便
平成20年	野川・七軒家循環 運行開始
平成21年	貫井前原循環、東町循環、野川・七軒家循環 武蔵小金井駅南口乗入れ
平成23年	東町循環 運行時間拡大の試行
平成28年	野川・七軒家循環 運行時間拡大
平成30年	小金井市コミュニティバス再編事業 着手
平成31年	東町循環 運行ダイヤ改正

⇒平成21年の武蔵小金井駅南口乗入れから約10年間、  
CoCoバスは大きなルート変更なし

# ■再編事業の目的等について

## ■事業の概要

- CoCoバスの運行開始から15年が経過しており、JR中央本線連続立体交差事業や駅前再開発等により、市内の交通状況及び市民ニーズが変化してきている。
- 本事業では、これまでの状況及び今後の新庁舎建設計画等を加味した上で、市民及び地域公共交通会議等の意見を踏まえながら、運行ルート等の総合的な見直しを行うことで、コミュニティバスの更なる充実を図る。

## ■事業スケジュール

平成30年度	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 市内交通現況の整理及び市民アンケート調査等による既存路線に対する課題・要望抽出</li><li>○ コミュニティバス再編基本方針の検討</li><li>○ コミュニティバス再編運行基準の検討</li></ul>
平成31年度 (令和元年度) ～ 令和2年度	<ul style="list-style-type: none"><li>○ コミュニティバス再編基本方針の策定</li><li>○ コミュニティバス運行基準の検討、策定</li><li>○ コミュニティバス再編計画の検討、策定</li><li>○ 運行ルート及びバス停の協議、選定</li><li>○ コミュニティバスガイドラインの検討</li><li>○ 地域懇談会の実施</li></ul>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"><li>○ コミュニティバスガイドラインの検討、策定</li><li>○ 各関係機関等への届出</li><li>○ 運行開始に向けた周知</li></ul>
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 運行開始</li></ul>

# CoCoバス各路線の運行状況

## 小金井市コミュニティバス CoCoバス(ココバス)

### 北東部循環

**北東部循環**  
 運行本数：42便/日（平日）  
 40便/日（休日）  
 運行時間：7時～20時

### 東町循環

**東町循環**  
 運行本数：21便/日  
 運行時間：9時15分～19時15分

### 貫井前原循環

**貫井前原循環**  
 運行本数：31便/日  
 運行時間：9時～19時

### 野川・七軒家循環

**野川・七軒家循環**  
 運行本数：24便/日  
 運行時間：8時35分～20時05分

### 中町循環

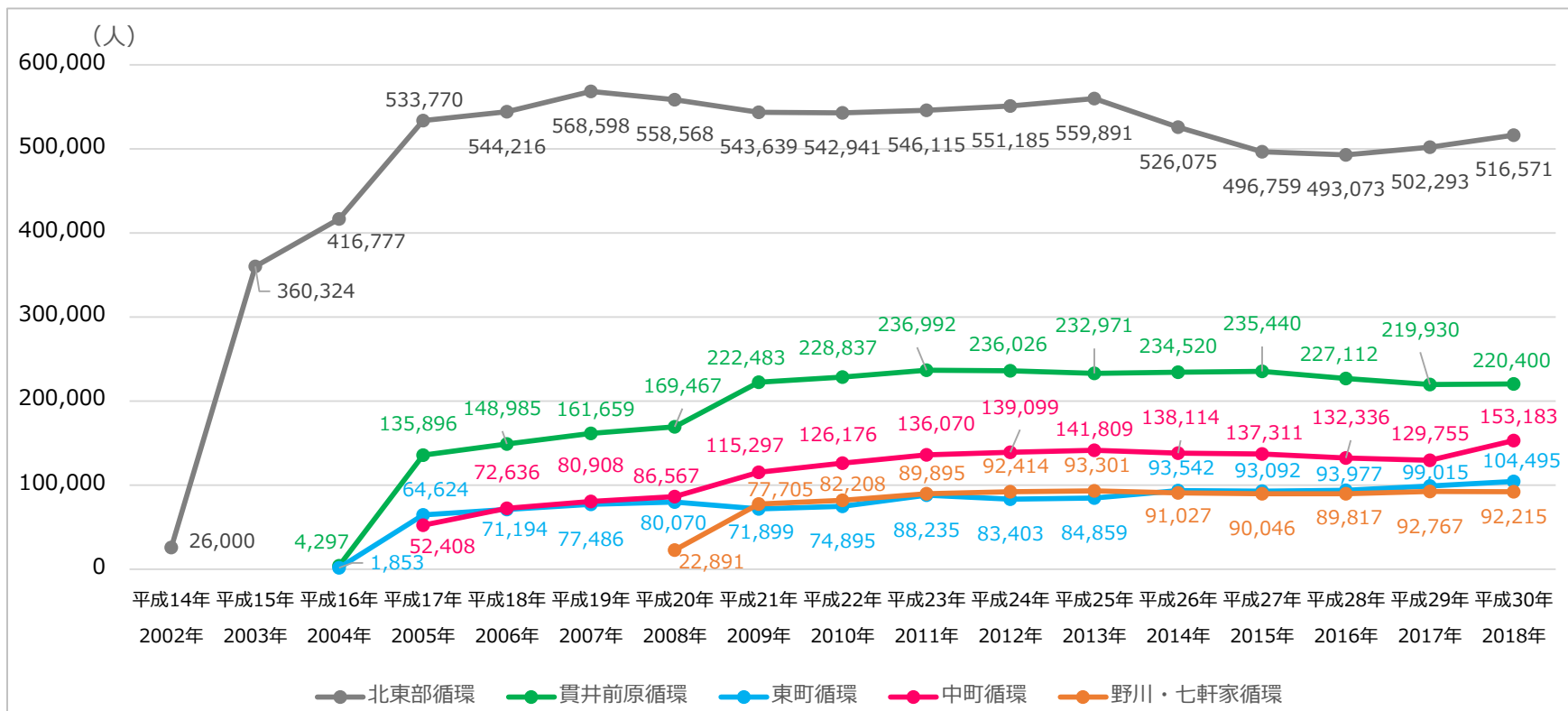
**中町循環**  
 運行本数：21便/日  
 運行時間：9時～19時

### 東町循環



# CoCoバスの各路線の利用状況

- 北東部循環の利用が最も多く、ここ数年は年間約50万人が利用。
- 野川・七軒家循環は車両定員が少ないものの、東町循環と概ね同程度の利用状況。

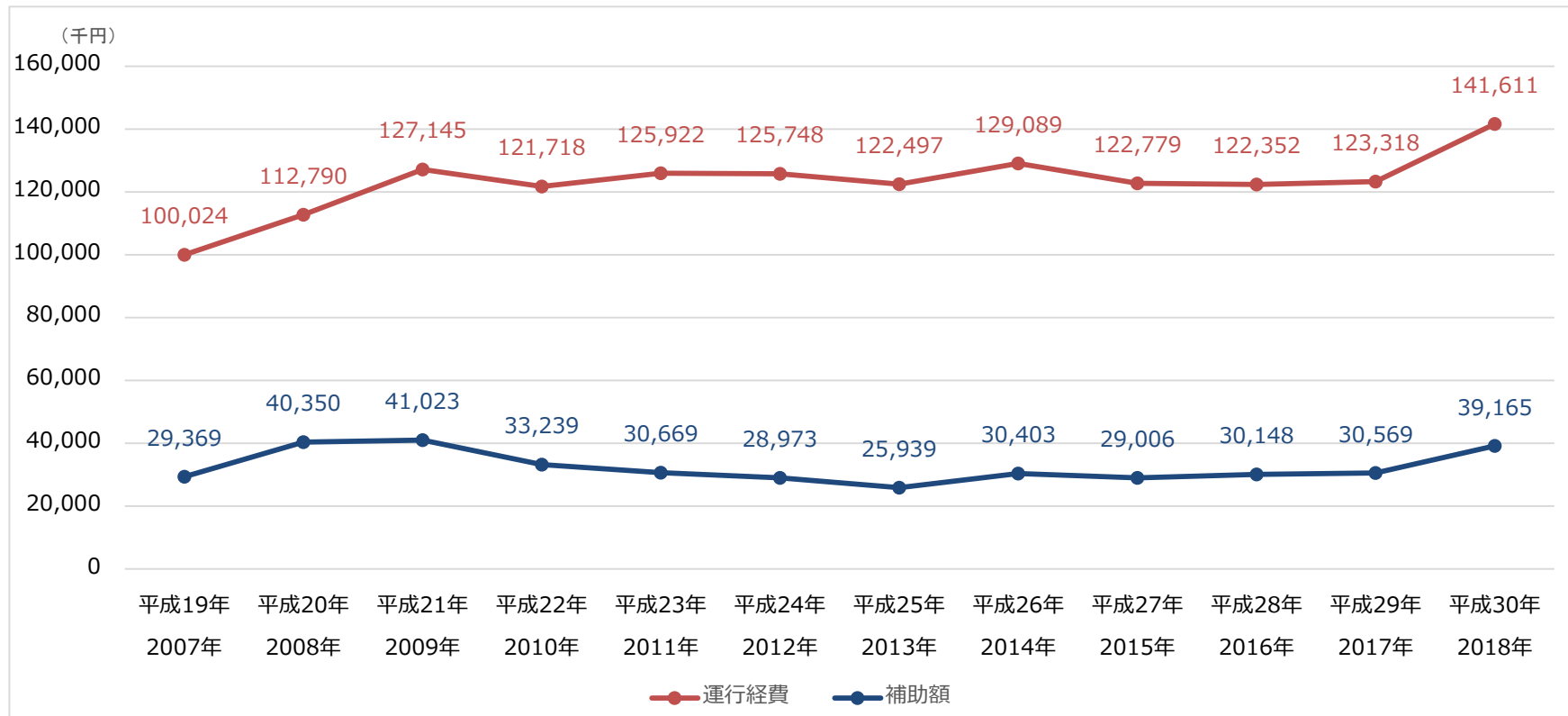


CoCoバス（路線別）利用者数推移（平成14～30年度）



# CoCoバスの全体の補助額

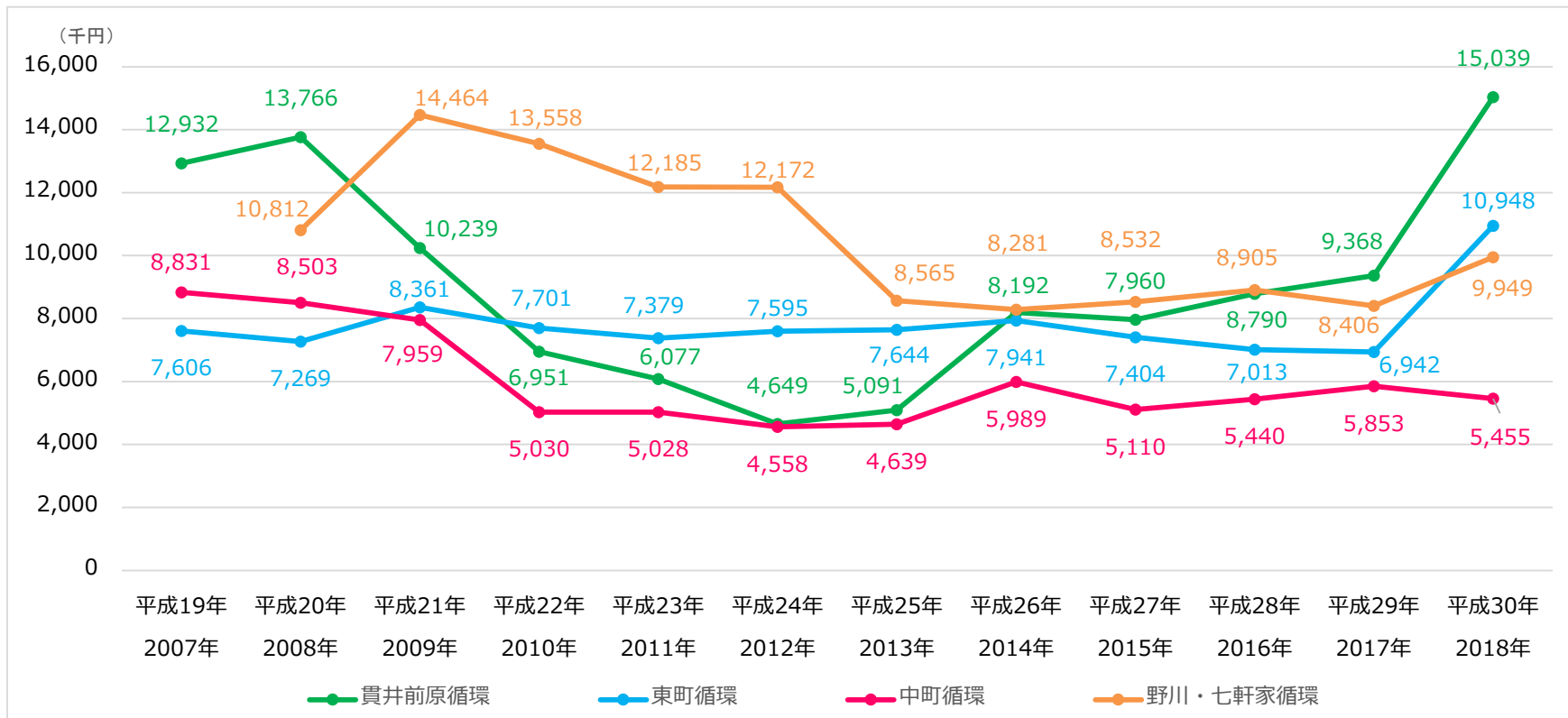
- CoCoバス全体の運行経費は概ね横ばいで推移。
- 運行経費から運行収入を差し引いた市の補助額は毎年概ね3,000万円程度だが、平成30年度は運行経費の上昇に伴い約3,900万円と増加。



CoCoバス（全線）補助額推移（平成19～30年度）

# CoCoバス各路線の補助額

- 運行経費に対する補助額の割合は、**中町循環**が約3割、**貫井前原循環**が約4割、**東町循環**及び**野川・七軒家循環**が約5割前後（いずれも平成30年度時点）
- **北東部循環**は運行収入が運行経費を上回っているため、現在は補助はなし。

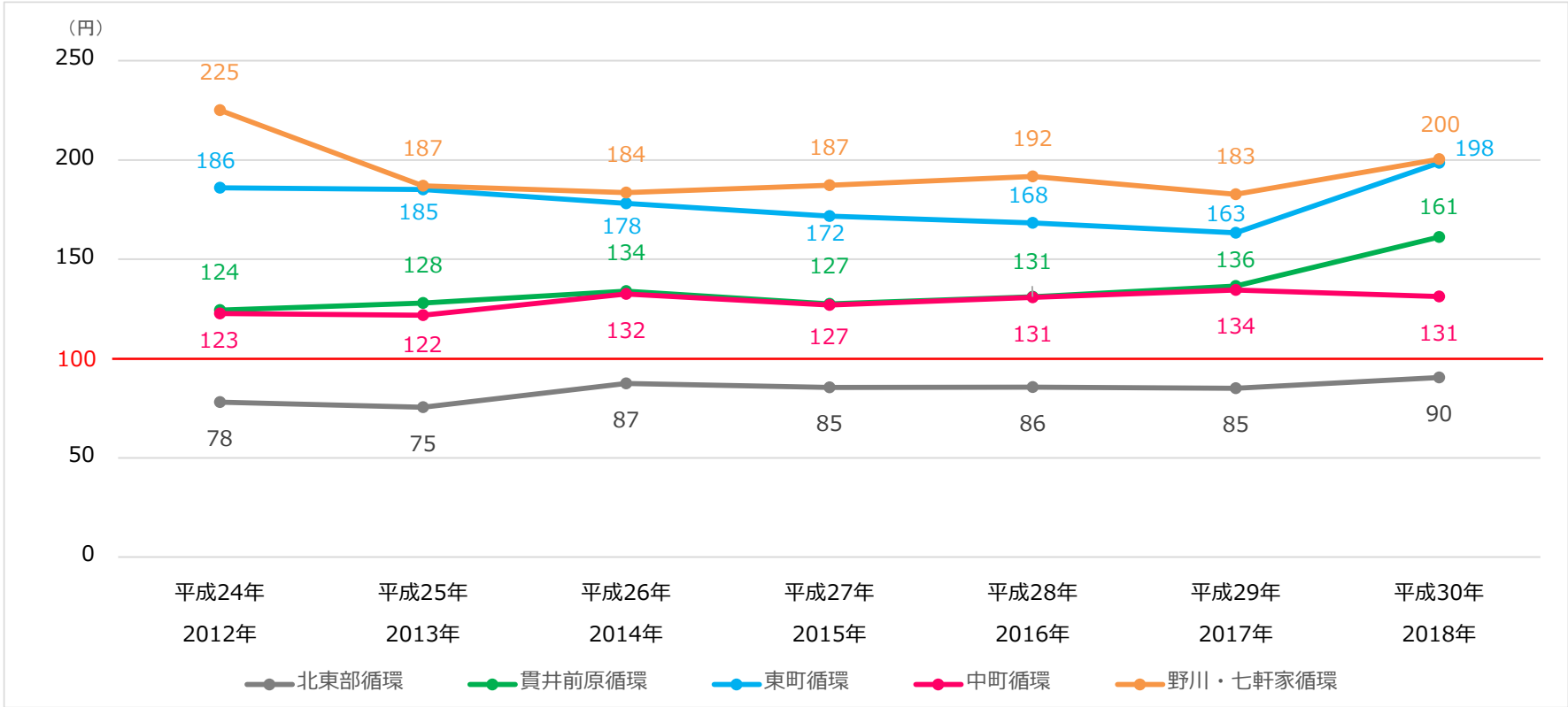


CoCoバス（路線別）補助額推移（平成19～30年度）

※ 野川・七軒家循環は平成24年度まで車両の減価償却分を計上

# CoCoバス各路線の運行経費（利用者1人当たり）

○1人当たりの運行経費が運賃（100円）を上回る金額分は市が補助。  
 ○北東部循環も経費は増加傾向で、今後補助が必要となる可能性あり。

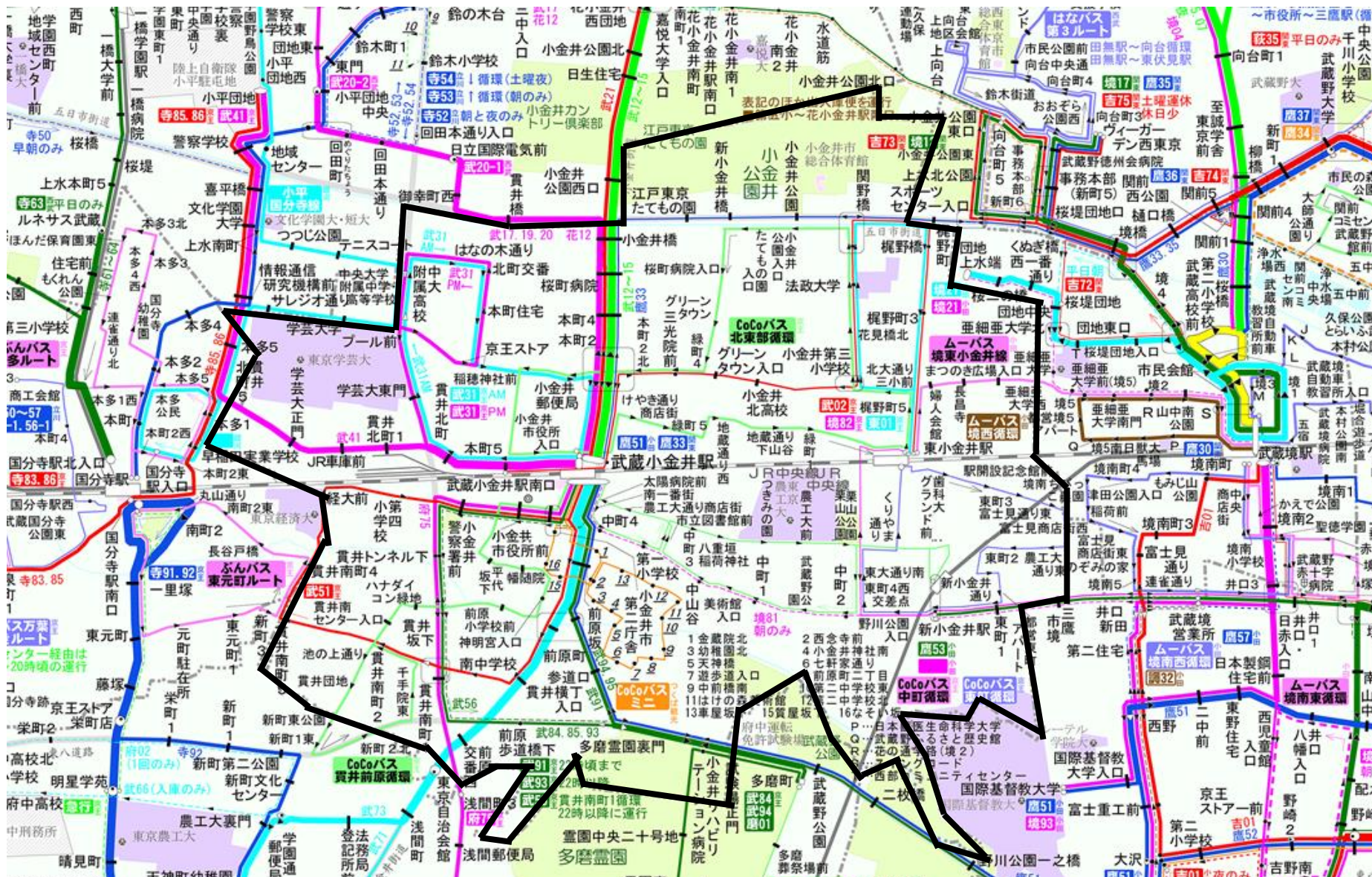


CoCoバス（路線別）利用者1人当たりの経費推移（平成24～30年度）

## **2. 市内のバス運行状況について**

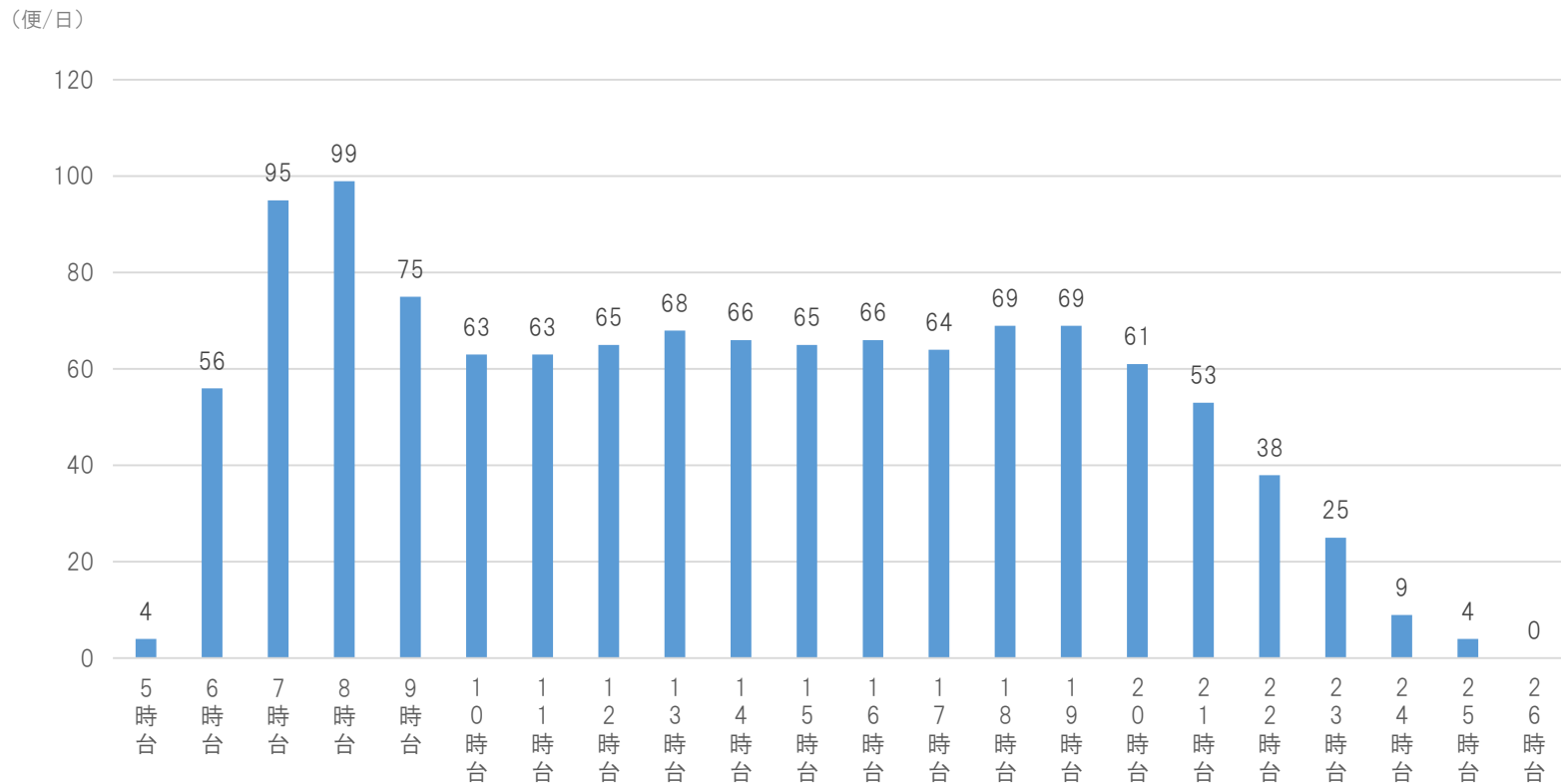
# 路線バスの状況

○小金井市内では現在34系統の路線バスが運行。(市内鉄道駅発路線のみで集計)



# ■路線バスの運行状況

○ 小金井市内の鉄道駅を出発する路線バスは1日に約1,200便（平日）。  
○ ピークは朝方の通勤通学の時間帯。

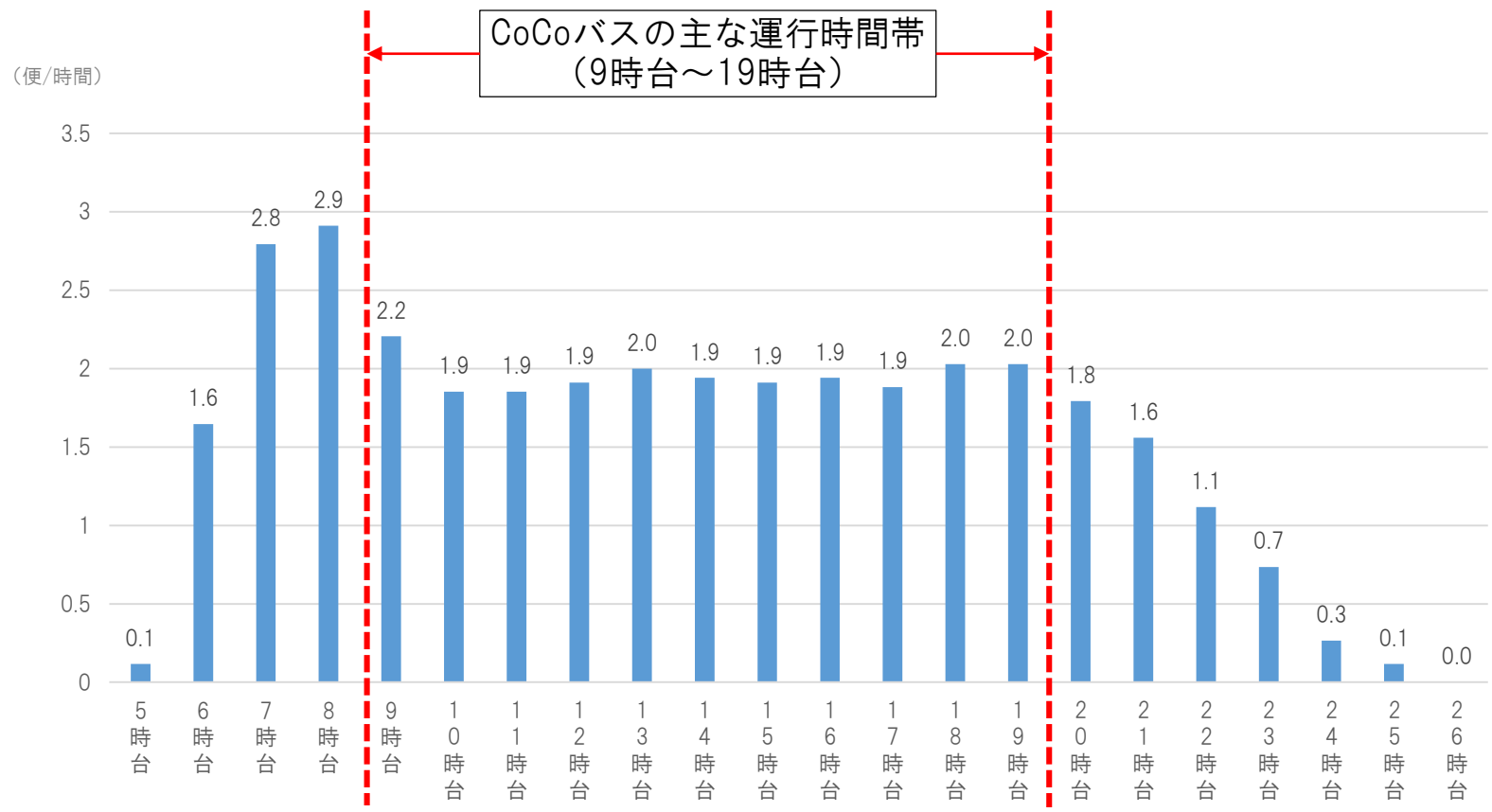


路線バスの時間帯別運行本数（令和元年7月時点）

※市内の鉄道駅発の運行本数（平日分）を集計

# ■路線バスの運行状況

○ 1系統あたりの運行本数に平均すると、通勤通学の時間帯は3便/時間程度、日中は2便/時間程度で運行。

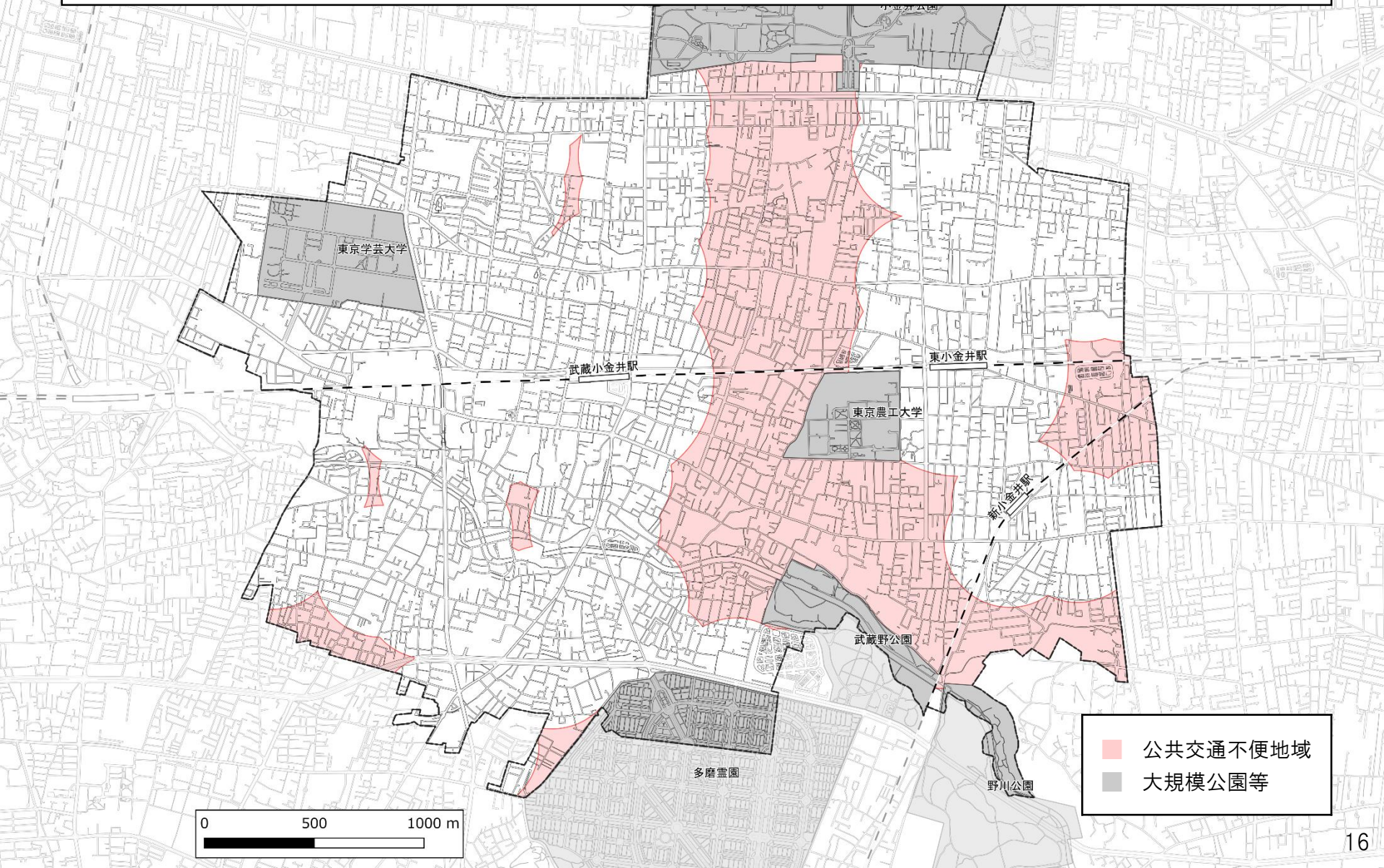


路線バスの時間帯別運行本数 (令和元年7月時点)

※市内の鉄道駅発の運行本数 (平日分) を集計し、系統数で平均

# ■公共交通不便地域

○ 鉄道駅から500m（新小金井駅は300m）以遠かつ、1日の運行本数が20便以上の路線バス停留所から300m以遠の地域を「公共交通不便地域」として設定。





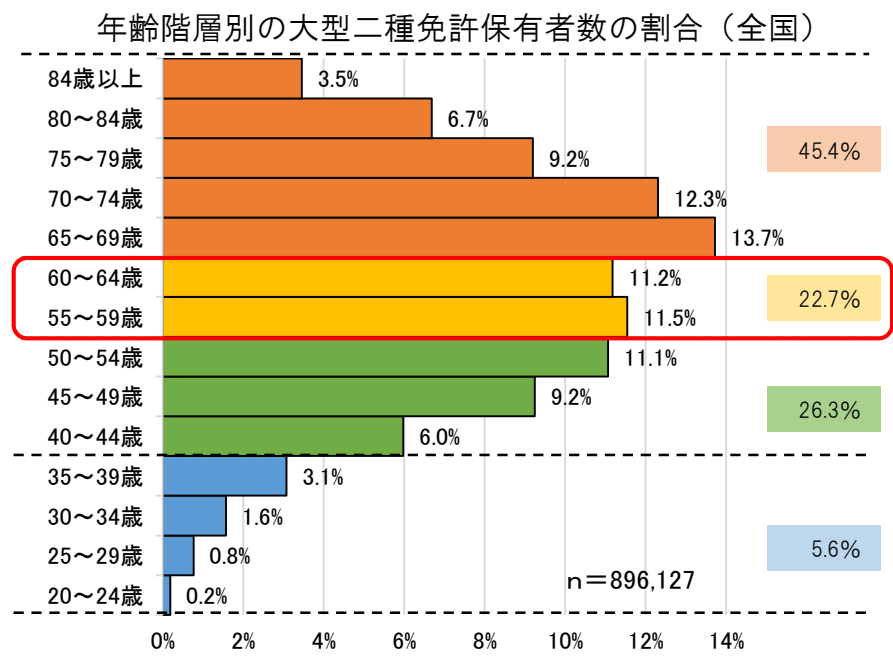
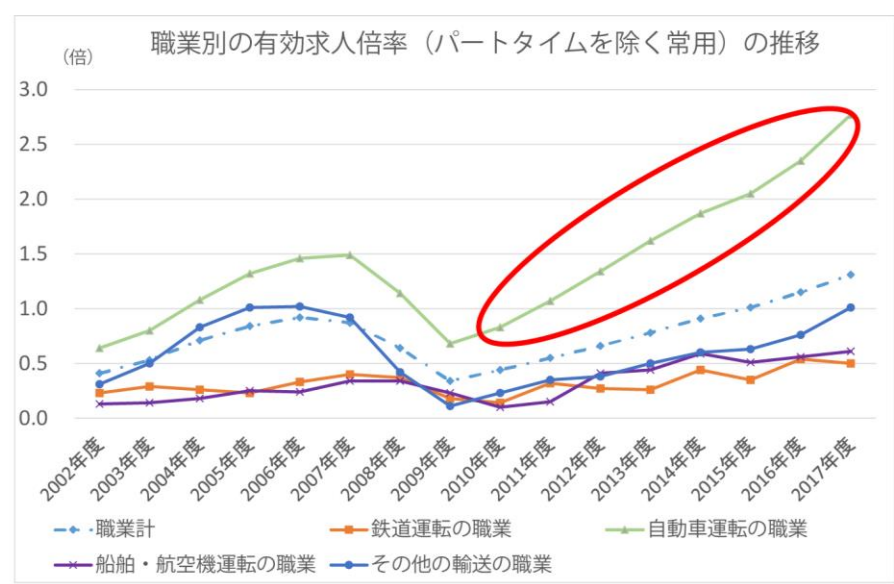
## ■小金井市内を通る路線バスの減便状況

路線名称	改正前	改正後
京王バス [境81] 武蔵小金井駅南口～新小金井駅～武蔵境駅南口	運行本数 : 18便/日 時間帯 : 06:25 - 20:36 ※2018年3月時点	運行本数 : <b>3便/日</b> 時間帯 : 06:25 - <b>08:06</b> ※2019年9月時点
京王バス [武41] 武蔵小金井駅北口～小平団地	運行本数 : 119便/日 ※2018年3月時点	運行本数 : <b>110便/日</b> ※2019年9月時点
京王バス [武51] 西ノ久保循環	運行本数 : 97便/日 ※2005年時点	運行本数 : <b>44便/日</b> ※2019年9月時点
関東バス [鷹33] 武蔵小金井駅北口～小金井公園前～三鷹駅北口	運行本数 : 58便/日 (往路) 運行本数 : 60便/日 (復路) ※2004年7月時点	運行本数 : <b>10便/日</b> (往路) 運行本数 : <b>10便/日</b> (復路) ※2019年9月時点
銀河鉄道 [小平国分寺線] 小平駅南口～国分寺駅入口	日中15分間隔で運行 ※2018年10月時点	日中 <b>20分</b> 間隔で運行 ※2019年9月時点

※表中の年月は各路線のダイヤ改正前後の時点であり、ダイヤ改正日を示すものではない

## ドライバーの人手不足

- 自動車運転の事業は、他の運転業と比較しても有効求人倍率が高く、2009年度以降は、年を追うごとにその傾向が強くなっており、ドライバーのなり手が不足している現状を示している。
  - バスを運転するために必要な大型二種免許保有者の4割以上が65歳以上の高齢者であり、数年後には全体の2割を占める現在60歳前後のドライバーの引退が予測されるが、30代以下の占める割合は1割に満たない。
- ⇒以上より、今後はより一層ドライバー不足が深刻になると考えられる。



# 3. アンケート調査結果について

○ 小金井市民・CoCoバス利用者を対象としてアンケート調査を実施。

## ■市民アンケート調査概要

配布対象 : 18歳以上の小金井市民2,000人

調査日程 : 2018/9/21 (金) ~ 2018/10/8 (月・祝)

有効回答数 : 811人 (回収率 40.6%) ※2018/10/15時点の回収票を元に集計

## ■利用者アンケート調査概要

配布対象 : CoCoバス利用者2,042人 (未就学児・学生を除く)

調査日程 : 2018/9/26 (水)、2018/10/7 (日)

有効回答数 : 870人 (回収率 42.6%) ※2018/10/26時点の回収票を元に集計

## ■設問構成

### ■市民アンケート

1. 個人属性
2. バスの利用実態・利用意向
3. バスを利用するための条件 (サービス水準)
4. 新庁舎への乗り入れに対する意向
5. CoCoバスの費用負担、計画・運営方法に対する意向

### ■利用者アンケート

1. 個人属性
2. CoCoバスの利用実態
3. CoCoバス等の費用負担、計画・運営方法に対する意向
4. CoCoバスを利用するための条件 (サービス水準)
5. CoCoバスのルート変更に対する意向

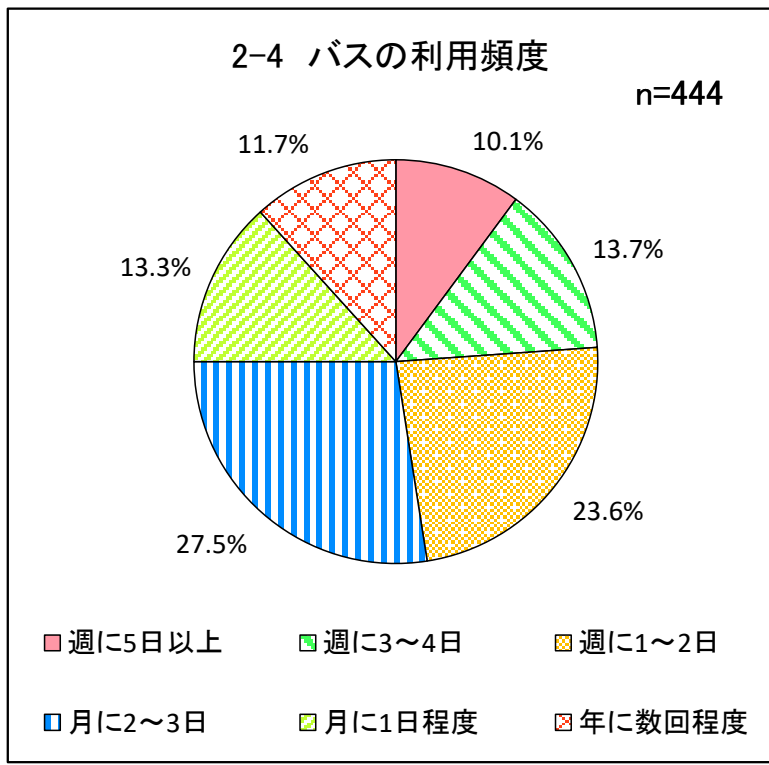
# 市民・利用者アンケートについて

## バス（CoCoバス・路線バス）を利用する頻度

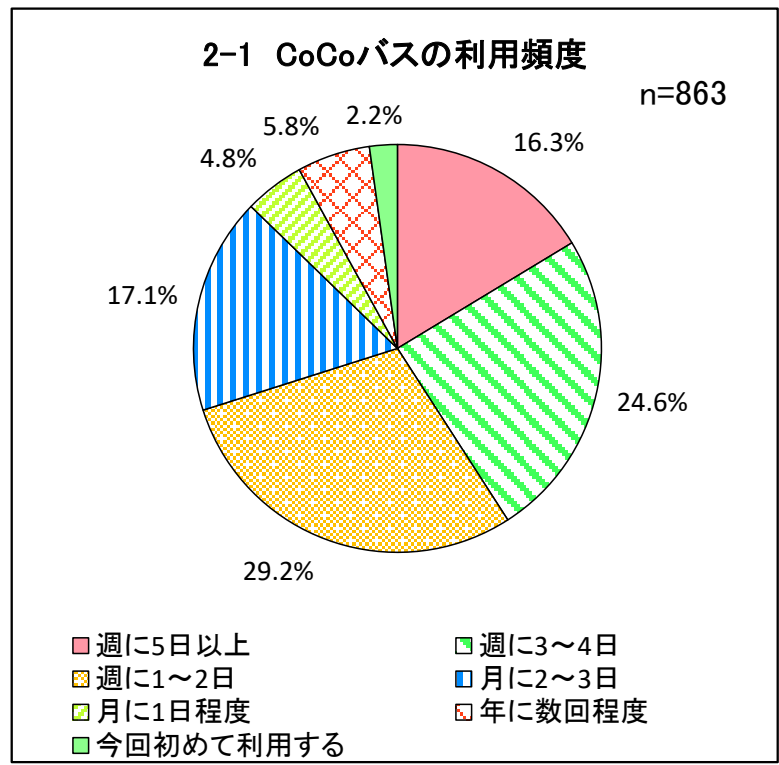
市民アンケート：回答者の半数が週に1日以上の利用、毎日のように利用（週5日以上）する方は10%程度。

利用者アンケート：回答者の約70%が週に1回以上の利用、毎日のように利用する方は16%程度。

### 市民アンケート（路線バスの利用も含む）



### 利用者アンケート（CoCoバス利用）

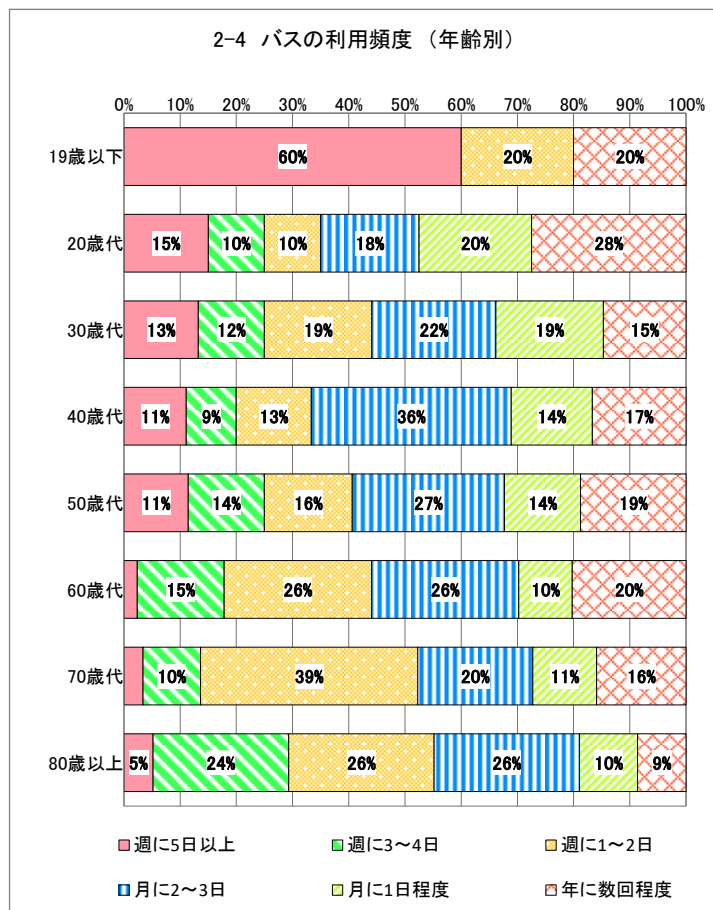


# 市民・利用者アンケートについて

## バス（CoCoバス・路線バス）を利用する頻度（年代別）

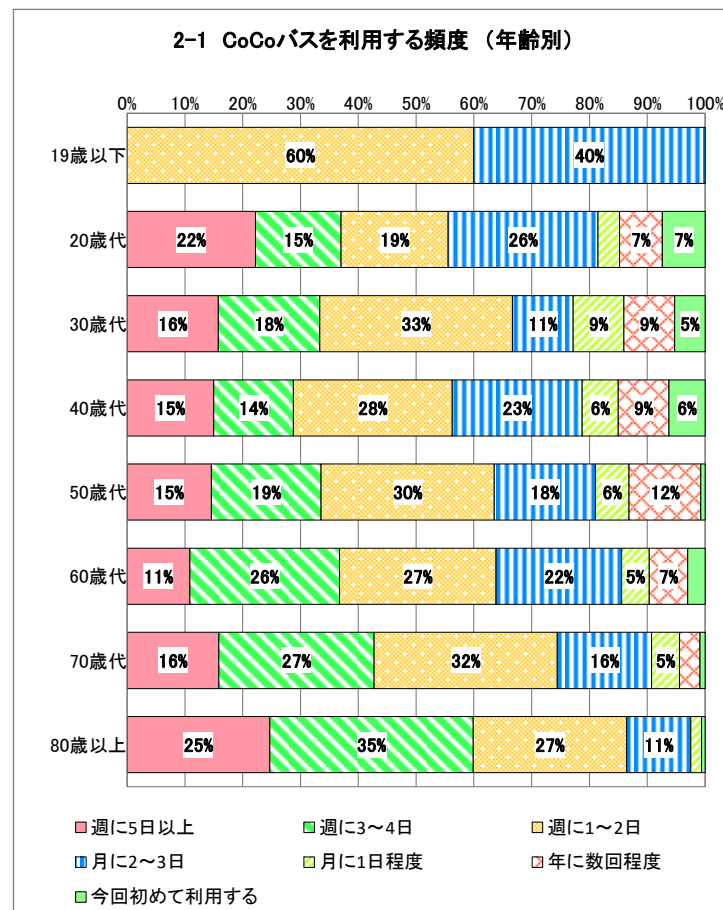
○ 高齢になるにつれて週1日以上利用する割合は高くなる傾向にある。

### 市民アンケート



※19歳以下については、回答数が少ないため参考値

### 利用者アンケート



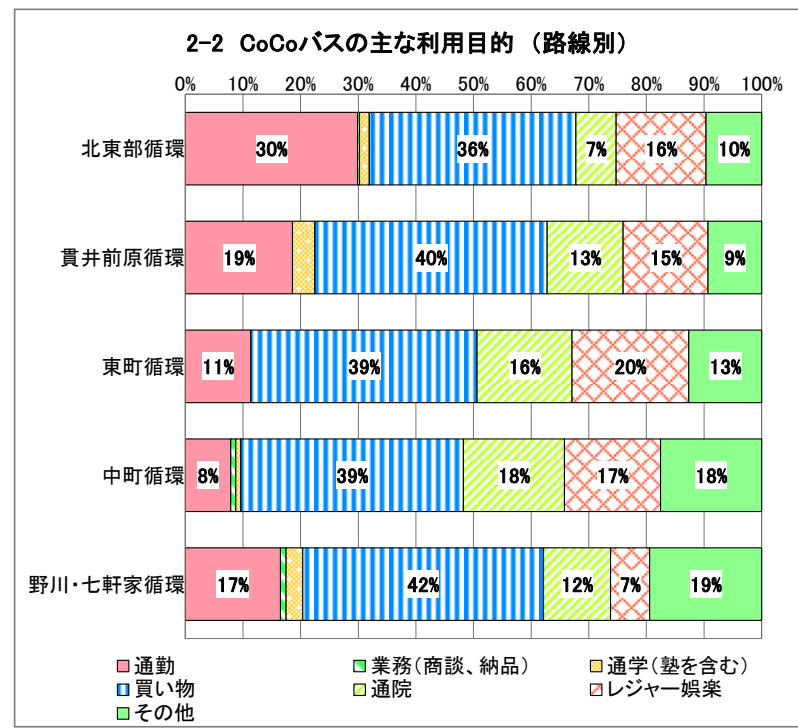
※19歳以下については、回答数が少ないため参考値

# ■市民・利用者アンケートについて

## ■利用する目的（路線別）

○すべての路線で買い物目的の利用が最も多い。  
 ○北東部循環では通勤目的での利用も多く見られる。  
 ○バスを利用するときの主な目的地としては、鉄道駅、市役所など。

## ■CoCoバスを利用するときの目的 (CoCoバス利用者アンケート)



## ■バスを利用するときの目的地

### ■利用者アンケート

目的地	回答数
武蔵小金井駅	138
イトーヨーカドー	88
東小金井駅	54
市役所	33
小金井公園	23

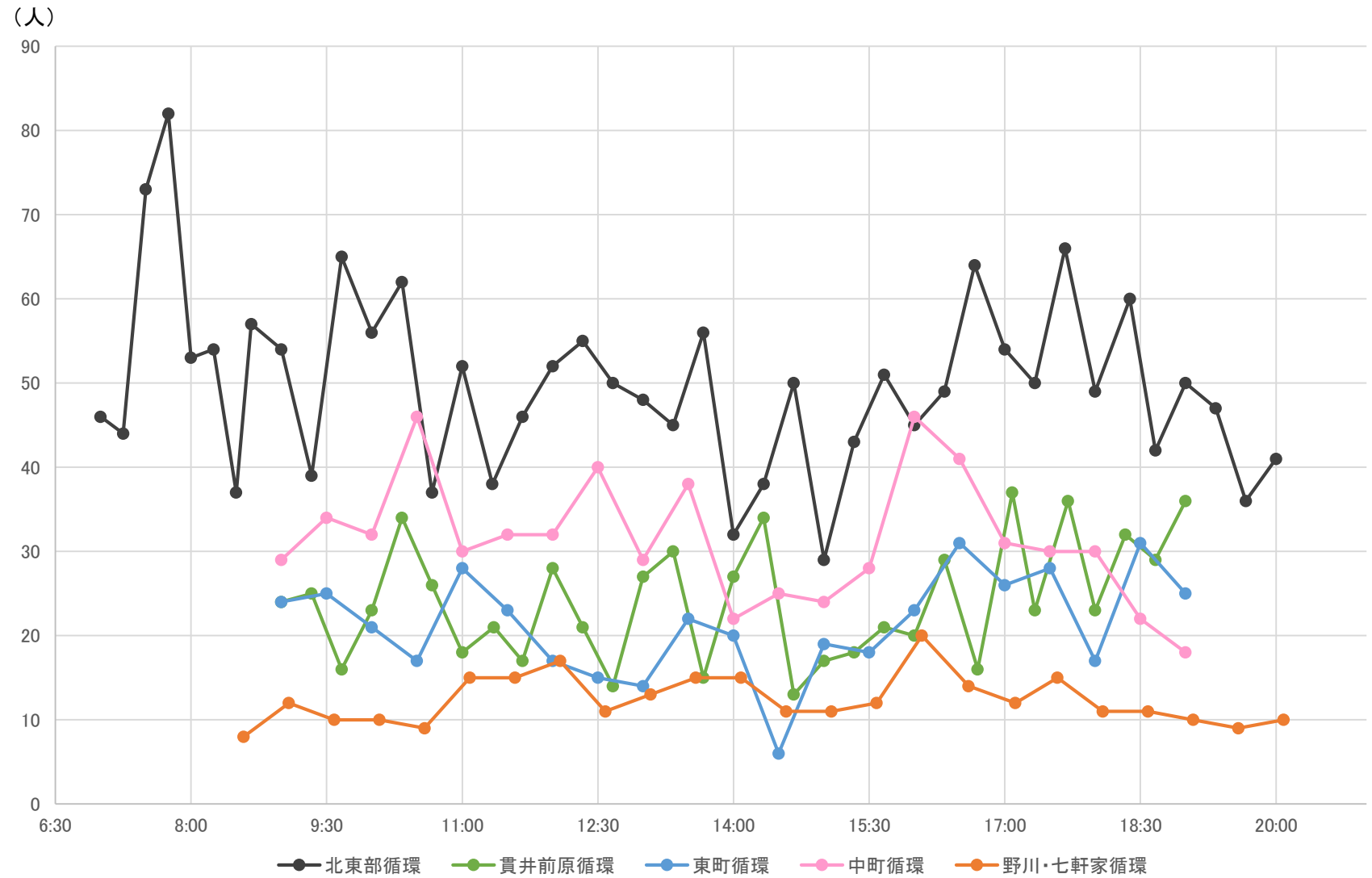
### ■市民アンケート（CoCoバス・路線バス合算）

目的地	回答数
武蔵小金井駅	102
イトーヨーカドー	32
東小金井駅	32
市役所	10
小金井公園	7

# 市民・利用者アンケートについて

## 便別の乗車人数（平日）

○ 北東部循環の乗車人数が最も多い。



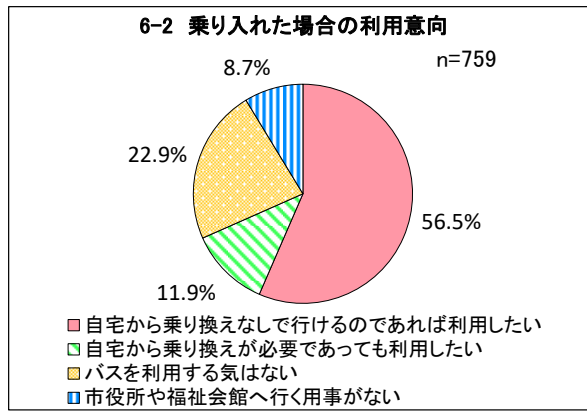
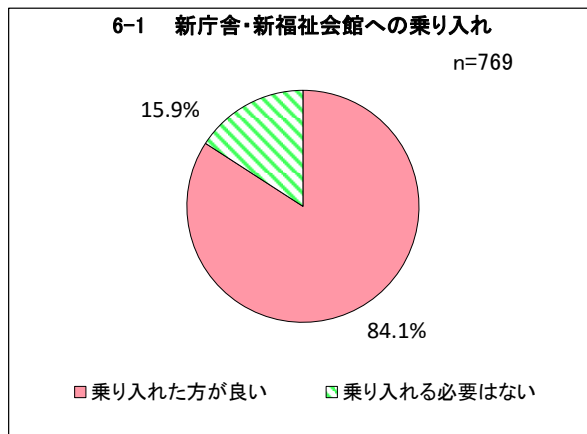


# ■市民・利用者アンケートについて

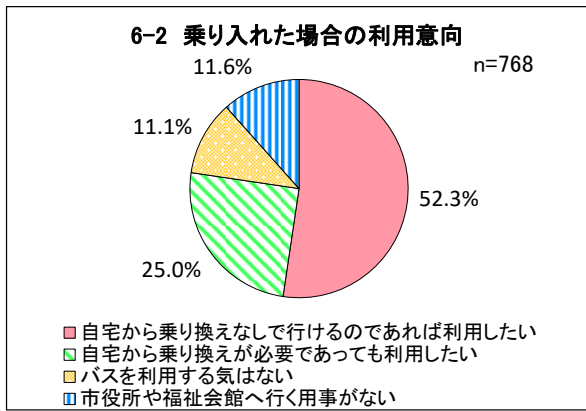
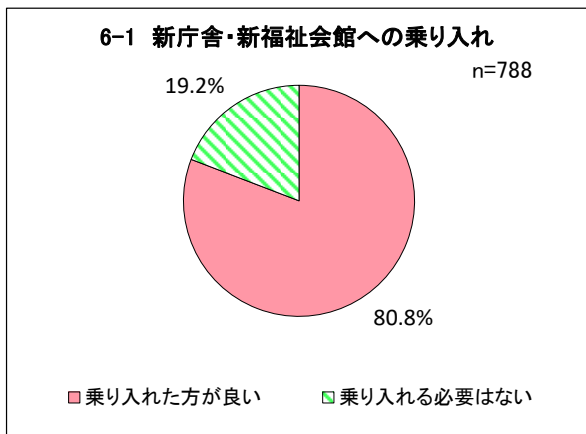
## ■市役所新庁舎

- 新庁舎・(仮称)新福祉社会館までのバス乗り入れについては「乗り入れた方が良い」が80%以上と大半を占める。
- 乗入れた場合は約半数が「自宅から乗り換えなしで行けるのであれば利用したい」と回答。

## ■市民アンケート



## ■利用者アンケート



## 4.CoCoバス再編のポイント

○ CoCoバスの再編にあたって、調査等の結果を踏まえ、公共交通に関する課題を整理した。

- 交通弱者に配慮した移動手段の確保
- 公共交通不便地域への対応
- 路線バスとCoCoバスの競合回避・相互補完
- バス・タクシー業界における運転手不足及び高齢化の深刻化（交通サービスの担い手の不足）
- 日常生活で利用する施設へのアクセス手段の提供が必要
- CoCoバス運行に関する指針・基準等が必要
- 市民・バス事業者・市の3者が過度な負担なく公共交通を支える必要

# ■再編事業における基本方針

## 1. 公共交通が不便な地域における交通弱者※への対応

- CoCoバスは、路線バスが通っていないまたは通っているが運行本数が1日数本程度など、公共交通が不便な地域を対象地域とすることを基本とする。
- ルートやバス停の位置・間隔、運行時間や運行本数等のサービス検討に当たっては、交通弱者の移動ニーズに配慮する。
- 路線バスが通っていない地域などでは、幅員が狭いことでバスの通行が困難な道路もあると想定されるため、道路の整備状況を踏まえたルートの設定を行う。

※「交通弱者」：高齢者、妊産婦、子供連れ、障がい者など（一時的にケガをしている人なども含む）、自家用車や自転車の利用が制限され、公共交通が主たる移動手段になると想定される人々。

## 2. 路線バスを補完するサービスの提供

- 地域公共交通ネットワークの形成に当たっては路線バスを基本とし、路線バスとの競合回避を踏まえた上で、CoCoバスのルートやバス停の位置・間隔、運賃、運行時間、運行本数等のサービスについて検討する。
- 市内全域を路線バスとCoCoバスの両者が一体となってカバーする地域公共交通ネットワークを形成する。

## 3. 日常生活に即した運行サービスの提供

- 市民や利用者からニーズが高い施設を結ぶルートについて、効率性の観点も踏まえながら設定する。
- 効率性の観点も踏まえると、一つのルートで結ぶ施設には限界があるため、他の施設にもできるだけ負担なく移動できるよう、CoCoバス路線間での乗り継ぎに伴う移動距離、運賃、ダイヤ接続、待ち空間等の観点から、利便性向上を図る。
- 現在はバス路線が運行していない新庁舎等の計画を踏まえたルート設定を行う。

## 4. 持続可能な運行形態・サービスの提供

- 市民はコミュニティバスの運行に積極的に関与しながら、利用する際は運賃による受益者負担を負い、バス事業者は運行サービスを提供し、市は調整や財政支援を行うという基本的な役割分担により3者が連携し、一定の基準のもと過度な負担なく公共交通を支えるためのしくみを構築する。
- 現有車両でサービスを提供することを基本とし、財政負担が現状水準を大幅に上回ることがないよう、効率的・効果的な運行を行う。
- 運賃については、受益者負担や財政支援、地域間における公平性の観点から、水準や体系について検討する。
- 市民をはじめとしたより多くの方に利用してもらうため、PR、意識啓発等の利用促進を図る。

## ■再編運行基準（案）

- 持続可能なコミュニティバスの運行のため、道路幅員やバス停設置箇所等の法令上の制限、基本方針を踏まえた運行時間帯、運行間隔及び運賃等のサービス水準とともに、再編後の見直しを検討する上での運行継続基準を検討した。
- 有識者等も含めた会議にて確認した、運行基準（案）は以下のとおり。
- これを原則としながら、本日のご意見や地域の状況等を考慮してルート及びサービス内容の検討を進める。

項目	指標	指標の考え方	基本方針対応	原則とする運行基準（案）
道路・バス停留所の条件	道路幅員	コミュニティバスの運行に必要な道路幅員	—	（車両制限令に基づき設定） ※1
	バス停留所設置箇所	バス停留所の設置条件	—	（法令等での基準により設定） ※1
運行サービス水準	バス停留所間の距離	バス停留所間の距離	①④	200～300m間隔 ※1
	運行間隔（頻度）	1時間あたりの運行本数	④	1時間2便（30分に1便）
	運賃	1回乗車あたりの運賃	①②④	（今後検討）
	運行時間帯	始発・終発時間の考え方	②③④	9時台～19時台
運行継続基準	収支率（公費負担率）	運行経費に対する運賃収入の割合	④	（今後検討）

※1 警察や道路管理者との協議、道路・土地利用状況、近隣住民の意向等についても考慮する。

上記基準を踏まえた上で、市内における高齢化の状況や土地の高低差を考慮し運行ルート等を設定する。

ここまでの内容を踏まえて・・・

# 本日の論点

- ① 公共交通での移動が不便な事項について
- ② CoCoバスの運行に求める事項について



## ■ここからの進行について

- 質疑応答 : 資料の説明内容について質問がある方はお願いします。
- ワークショップ : 2つの論点について、グループに分かれて話し合います。  
(グループ分けは、このあと事務局の方から発表します。)
- ◆ 自己紹介 (5分程度) : お名前・お住まいの地域・ひとこと (意気込みなど)
- ◆ 論点1 (15分程度) : 「公共交通での移動が不便な事項について」
- ◆ 論点2 (15分程度) : 「CoCoバスの運行に求める事項について」
- ◆ まとめ : 論点1、2について話し合った内容をまとめます。
- ◆ 発表 : 各グループで話し合った内容を、全体で発表します。  
(各グループ5分程度)
- さいごに : アンケート調査へのご協力をお願いします。
- 閉会挨拶

